

いちごうどんこ病DMI剤耐性菌の遺伝子診断法

1. 試験のねらい

いちごでは、うどんこ病が最重要病害の一つとなっているが、防除薬剤である DMI 剤の効力低下が問題となっている。そこで、いちごうどんこ病菌の DMI 剤標的酵素遺伝子 (*CYP51*) を解析し、DMI 剤耐性菌の遺伝子レベルでの特異的な変異を見出すとともに、その診断法を開発する。

2. 試験方法

(1) 供試菌株

いちごうどんこ病菌は、JA 全農営農・技術センターから分譲された DMI 剤に対する感受性菌株、感受性低下菌株（耐性菌）および農試場内で DMI 剤の連用処理により選抜した菌株を用いた。

(2) *CYP51* 遺伝子の塩基配列の解析

供試菌株から DNA を抽出し、設計したプライマー C51Str-F/C51Str-R により、*CYP51* 遺伝子全長を增幅した。*CYP51* 遺伝子をクローニングした後、その全塩基配列を決定した。

(3) PCR 法による DMI 剤耐性菌の遺伝子診断法の開発

DMI 剤耐性菌に特異的な *CYP51* 内の変異を見出し、それを検出するためのプライマーを設計するとともに、最適な PCR 条件を検討した。

(4) 現地ほ場での DMI 剤耐性菌の発生状況

県内各地の現地ほ場から、いちごうどんこ病罹病葉を採集し、開発した PCR 法で DMI 剤耐性菌の発生状況を調査した。

3. 試験結果および考察

(1) いちごうどんこ病 DMI 剤耐性菌には、*CYP51* コドン 461 に G (グリシン) から S (セリン) へのアミノ酸置換を伴う 1 塩基変異をもつ菌株（変異型）があることを明らかにした（図-1）。

(2) *CYP51* に 1 塩基変異がなくとも（野生型）、*CYP51* の上流に 360bp の挿入配列があり耐性を示す菌株や挿入配列も認められない DMI 剤耐性菌株もあることを明らかにした。

(3) *CYP51* コドン 461 の 1 塩基変異を検出するための変異型検出用プライマー、野生型検出用プライマーを作製し、PCR 条件は 94 °C × 1min、65 °C × 1min、72 °C × 1min、40 サイクルが最適であることを明らかにした（図-2）。

(4) 現地ほ場から採集したいちごうどんこ病菌を PCR 法で検定した結果、病斑によつては *CYP51* の野生型 DNA をもつ菌株とコドン 461 に 1 塩基変異をもつ菌株が、それぞれ単独あるいは重複感染していることが明らかになった。また、*CYP51* コドン 461 に 1 塩基変異を有するタイプの DMI 剤耐性菌が県内に広く分布している可能性が示唆された（表-1）。

4. 成果の要約

いちごうどんこ病 DMI 剤耐性菌には、いくつかのタイプがあることを明らかにした。その一つに *CYP51* コドン 461 に 1 塩基変異を有するタイプがあることを見出し、その遺伝子診断法を確立した。

（担当者 環境技術部 病理昆虫研究室 中山喜一・大関文恵）

DMI剤感受性菌：
 ...CCG TAT CTT CCA TTT **G**GC GCA GGG AGA CAT...
 P Y L P F **G** A G R H

DMI剤耐性菌：
 ...CCG TAT CTT CCA TTT **A**GC GCA GGG AGA CAT...
 P Y L P F **S** A G R H

図-1 いちごうどんこ病菌 *CYP51* 遺伝子の塩基配列及びアミノ酸配列(一部)
 太字が塩基変異がみられるコドン461部位

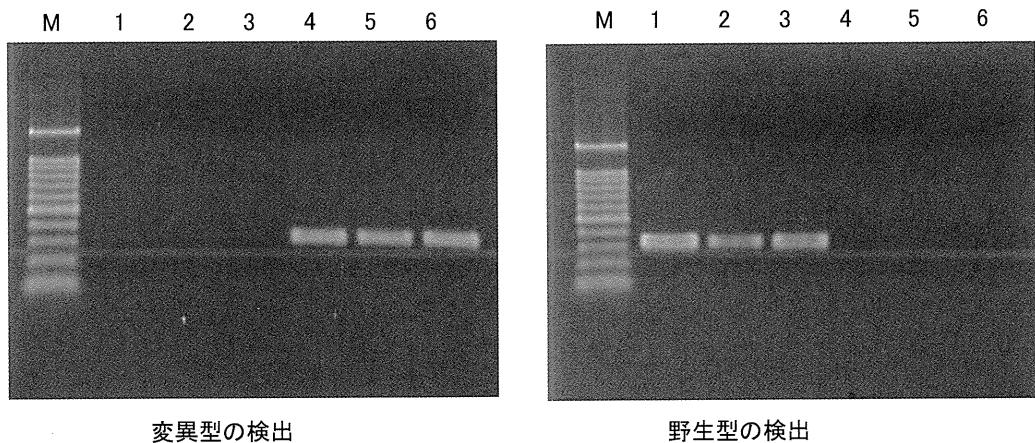


図-2 変異型に特異的なプライマーによるDMI剤耐性いちごうどんこ病菌の検出

M : 100bp ラダー
 1 : 98HOK-1(野生型) 2 : 98HOK-1M(野生型) 3 : DMI11-6(野生型)
 4 : TOC5(変異型) 5 : SGK13-1(変異型) 6 : SGK13-2(変異型)
 注 1) 変異型はDMI剤耐性菌を示す。
 2) 変異型の検出では、野生型の試料 1 ~ 3 は反応しない。

表-1 いちごうどんこ病菌現地採集株のPCRによるDMI剤耐性的診断結果

地点No.	病斑No.	野生型	変異型
1	1	+	-
	2	+	-
2	1	+	-
	2	+	-
	3	+	-
	4	+	-
	5	+	-
3	1	-	+
	2	-	+
	3	-	+
	4	-	+
4	1	+	+
	2	+	-
	3	+	-
	4	+	+
	5	+	-
5	1	-	+
	2	-	+
	3	-	+
	4	+	-
6	1	+	-
	2	+	+
	3	+	-